

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの問題を発見し、他者とかかわりながら粘り強く解決する子を育てます。(知)</li> <li>・自他のよさを認め、互いを大切にする子を育てます。(徳)</li> <li>・生命を大切にし、心身ともにたくましく生きる子を育てます。(体)</li> <li>・このまちを愛し、ともによりよい未来を創造しようとする子を育てます。(公・開)</li> </ul>	<p>＜主体的に学び続けようとする姿勢＞                      ＜協働して課題解決する力＞                      ＜自他を大切に思える力＞</p>

### (2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○教職員のチーム力を高め、地域の教育力を取り入れながら、子ども一人ひとりが安心して学ぶ喜びを感じられる学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが安心して生活できる学校づくりを進め、自他の生命を大切にする心豊かな上寺尾の子を育みます。</li> <li>・教職員が横(学年)の連携をより図り、また、縦(学校)の連携が意識できる組織を整えます。</li> <li>・育てたい資質・能力を明確にし、共通認識をもって子どもが主体的に学習に取り組めるような授業改善を図ります。</li> <li>・地域の方との連携を通して、体験学習の充実を図り、まちを愛する子どもを育みます。</li> </ul>

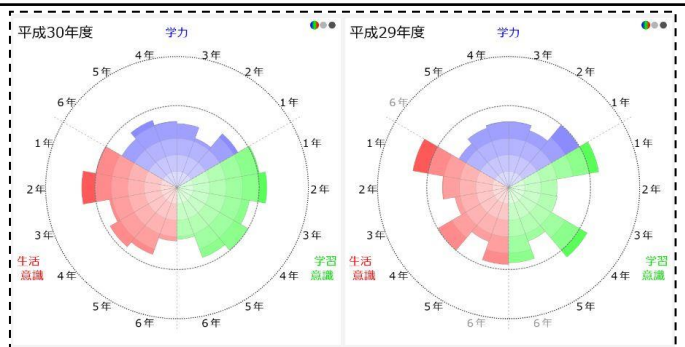
### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きては たく知	① 高学年での教科分担制を実施し、教師の授業力を高め、子どもが主体的に学習に取り組める授業改善を図る。 ② 主体的・対話的で深い学びを実現するために、子どもの問題発見力、問題解決力の育成を重点研究の中心として推進する。
担当 重点研究推 進委員会	

## 2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

### (1) 概要

学力は、全体的に市の平均より低い状況にあり、学習内容の定着が十分ではない。学習意識や生活意識についても、昨年度よりも高まってきてはいるものの、依然として平均値をやや下回っており、学習意欲の低さがうかがえる。



### (2) 教科学習の状況

国語科：読む力、書く力、言語の知識・理解は、ほぼ平均値であるが、話す力・聞く力については、平均を大きく下回っている。

算数科：全体的に市平均を下回っている。基礎・基本的な内容の確実な定着に努める。

社会科：概ね市の平均値だが、「思考・判断・表現」に関わる情報活用能力がやや低い。

理科：全体的に市平均を下回っている。基礎・基本的な内容の定着に努める。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析(学習・生活意識調査も含めて分析)

学習意識が年々高まってきている。これは、主体的な学習、協同的な学習をテーマに授業研究を続けてきた成果であると感じる。さらなる授業改善を通して、授業に対する児童の学習意欲の高まりや学習内容の確実な理解と習得を目指す。

### 3 令和2年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題に主体的に取り組む、問題解決を図ろうとする力。</li> <li>自分の思いを相手に伝えたり、相手の考えを受け入れたりする力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活経験をもとにした遊びや活動を通して、自分の身の回りのことに積極的にかかわる態度を育てる。</li> <li>国語科を中心に、自分が考えたこと言葉で表現していく経験を重ねることで、感じたことを言葉にする力を付けていく。</li> <li>支援が必要な児童には、個別の課題を把握して、適切な指導・支援を行う。</li> </ul>	
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題を自分で見つけ、主体的に考え、問題解決を図ろうとする力。</li> <li>自分の思いを他者に伝えたり、相手の考えを受け入れたりする力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小グループでのスピーチをする機会を継続的に設定する。(話す・聞く)</li> <li>漢字の学習では、間違いを自分で見つけて直し、習った漢字を文章の中で使えるようにする。</li> <li>支援が必要な児童には、個別の課題を把握して、適切な指導・支援を行う。</li> </ul>	
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読んだり、話を聞いたりして理解する力</li> <li>学習したことを生活の中で使っていく力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的なことを繰り返し学習する。</li> <li>具体物を操作したり、実際に体験したりする活動を多くする。</li> <li>学習したことが、日常生活のどの場面で使えるのかを考えていく。</li> <li>支援が必要な児童には、個別の課題を把握して、適切な指導・支援を行う。</li> </ul>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>あきらめずに最後まで問題解決に取り組む資質</li> <li>課題、問題を自ら見つける能力・意識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習への意識や生活意識、自己肯定感をベースとして、基礎的・基本的な学力の定着に努める。算数科でのニーズに応じたコース別授業、朝学習を利用した学力の定着の確認、家庭での学習習慣の定着によって子どもの学習意欲を高めたい。</li> </ul>	
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら問題を発見し、他者とかわりながら粘り強く解決しようとする資質・能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的・基本的な知識を身に付け、自分の思いや考えを進んで表現する学習過程や、学習の場を設定する。</li> <li>算数科での学習で少人数指導を取り入れ、個に合わせた支援を行う。算数の必要性を実感し、算数の有効性に気付いて学習していくように授業を進める。</li> <li>各教科で教科担任制を取り入れる。具体物や資料、ICT機器を活用する。</li> </ul>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手(話し手・資料)の意図を捉え、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの教科においても振り返りを実施し、自分の考えをまとめる時間をとる。</li> <li>対話する授業を行い、相手の意見をきちんと捉えるように指導をする。</li> <li>生活の中から課題を見つけ、学習したことを生活に戻せる力を身につける。</li> </ul>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">個別支援学級</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に主体的に取り組む、問題解決を図ろうとする力。</li> <li>・自分の思いを他者に伝えたり、相手の考えを受け入れたりする力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容や課題に応じて、個別、小グループ、学級全体で指導を行い、効果的な支援を行う。</li> <li>・達成感もてるようにスモールステップで課題を示し、個に応じた基礎学力の定着を図る。</li> <li>・各教科や自立活動の中で自分の思いを表出できる機会を設定し、表出できる手立てをとる。また自分の思いを大事にするとともに友達の考えも受け入れられることを大切に思えるように継続して指導・支援する。</li> </ul>	
---	---	--	--